

決 議

リニア中央新幹線は、日本の三大都市圏を約一時間で結び、世界最大規模の巨大都市圏を形成する国家的プロジェクトであり、平成 39 年（2027 年）開業予定の東京・名古屋間の工事が、平成 26 年 12 月に着工され、ついに実現に向け動き始めた。

これは、全国新幹線鉄道整備法に基づく昭和 48 年の基本計画及び平成 23 年の整備計画における「奈良市附近」という記載、平成元年の奈良県議会及び奈良市議会における「奈良市に停車駅を設置する」という議決に基づき、事実上の中間駅設置予定地として誘致活動を推進する奈良市のみならず、新幹線駅も空港も持たず、高速交通の国土軸から外れてきた奈良県全体の発展にとって大きな前進である。

一方、名古屋・大阪間は東京・名古屋間の開業後、実に 18 年遅れの平成 57 年（2045 年）開業予定となることにより、関西経済の地盤沈下も懸念されている。また、名古屋・大阪間の詳細なルートや中間駅設置場所についても未だ決定されていない状況である。

これらの状況を踏まえ、我々は、奈良県民長年の悲願であるリニア中央新幹線の早期全線開業及び奈良市への中間駅設置の実現のため、引続き官民一体となり強力な運動を展開するとともに、関係機関に対し、下記について早急に適切な措置を講じられるよう強く要望する。

記

- 1 早期にリニア中央新幹線の東京・大阪間の全線開業を行うこと。
- 2 災害時のリスク分散化のため、東海道新幹線のリダンダンシー機能を備えた「奈良市」を経由するルートとすること。
- 3 世界遺産「古都奈良の文化財」を有する日本屈指の観光地であり、乗降客にとって利用価値が高く、県下最大の鉄道需要を誇る県都「奈良市」に中間駅を設置すること。

以上決議する。

平成 28 年 1 月 29 日

リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議
会 長 仲 川 げ ん